

G空間関連 令和6年度当初予算の概要

【単位:百万円】

金額は関連予算含む。十万円単位(小数点第一位)を四捨五入。
 施策単位で額を確認できるものについてのみ集計。内数は集計外。
太字・下線はシンボルプロジェクト等を示している。

省庁名	令和5年度 当初予算額	令和6年度 当初予算額	主 な 施 策
内閣官房・内閣府 (警察庁・デジタル庁含む)	17,236	17,294	実用準天頂衛星システムの開発・整備・運用の推進、 小型衛星コンステレーションの構築加速のための基盤技術の 開発やアンカーテナンシーを通じた利用拡大、 総合防災情報システムの整備と運用、 アドレスBR及び不動産登記BRの運用保守 ほか
総務省	102	170	緊急消防援助隊動態情報システムの運用、 ヘリコプター動態管理システムの整備・運用 ほか
法務省	5,173	5,187	筆界特定の推進、登記所備付地図作成作業、 衛星測位を利活用したGPS測量推進事業
財務省	13	11	国有財産情報公開システムの運用
文部科学省	16,752	16,682	地球観測衛星の継続的開発、利用実証等、 国際的な宇宙開発利用の進展と人材育成のためのプログラム ほか
農林水産省	2,312	4,177	農林水産省地理情報共通管理システム運用保守、 森林GIS等の整備、 次世代スマート農業技術の開発・改良・実用化 ほか
経済産業省	2,751	1,980	衛星データ利用環境整備・ソリューション開発支援、 産業DXのためのデジタルインフラ整備事業、 衛星通信等の技術を活用した運航管理技術の開発 ほか
国土交通省	23,690	22,762	i-Constructionの推進による3次元データの利活用の促進、 電子国土基本図の整備・更新・3次元化等、 3D都市モデルの整備・活用・オープンデータ化、 地籍調査の推進、 海域の地理空間情報の整備・提供 ほか
環境省	5,640	5,812	生物多様性情報システム等の整備・活用推進、 再生可能エネルギー情報提供システム「REPOS」、 GOSATシリーズによる地球観測事業等 ほか
防衛省	656	1,319	災害対処等に資する地理空間情報に係るデータの整備、 自衛隊の災害派遣活動における災害用ドローンの活用、 自衛隊による衛星測位の利用 ほか
総計	74,325	75,394	
対前年度比		1.01	



G空間関連 令和5年度補正予算の概要

【単位:百万円】

金額は関連予算含む。十万円単位(小数点第一位)を四捨五入。
施策単位で額を確認できるものについてのみ集計。内数は集計外。
太字・下線はシンボルプロジェクト等を示している。

省庁名	令和5年度 補正予算額	主 な 施 策
内閣府 (デジタル庁含む)	7,812	<u>総合防災情報システムの整備と運用、</u> <u>準天頂衛星システムの開発加速等、</u> 小型衛星コンステレーションの構築加速のための基盤技術の開発 やアンカーテナンシーを通じた利用拡大、 <u>アドレスBR機能整備</u> ほか
文部科学省	4,229	<u>地球観測衛星の継続的开发、利用実証等、</u> 地球環境データ統合・解析プラットフォーム事業
農林水産省	4,675	<u>農林水産省地理情報共通管理システムの開発、</u> <u>スマート農業技術の開発・実証・実装プロジェクト</u> ほか
経済産業省	関連予算の内数 (※)	自動運転等の先行実装のためのデジタルライフライン整備事業、 地質情報の整備
国土交通省	18,567	<u>i-Constructionの推進による3次元データの利活用の促進、</u> <u>電子国土基本図の整備・更新・3次元化等、</u> <u>3D都市モデルの整備・活用・オープンデータ化の推進、</u> 地籍調査の推進 ほか
環境省	1,269	<u>GOSATシリーズによる地球観測事業等</u> ほか
総計	36,552 (※を含まない)	

G空間関連 令和6年度当初予算及び令和5年度補正予算の概要(主要施策)



令和6年度当初予算及び令和5年度補正予算を一体として活用し、地理空間情報活用推進基本計画の取組を着実に推進していく。令和6年度は、準天頂衛星システムの5号機打ち上げや11機体制に向けた検討着手、次期総合防災システムの運用開始、ベース・レジストリである電子国土基本図の3次元化等に取り組む。

自然災害・環境問題への対応

○統合型G空間防災・減災システムの構築の推進

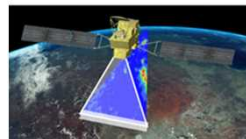
- ・総合防災情報システムの整備と運用
内閣府: 770百万円の内数 (R6当初)
: 558百万円の内数 (R5補正)



総合防災情報システム

○地球観測衛星による気候変動等の地球規模課題解決への貢献

- ・地球観測衛星の継続的開発、利用実証等
文部科学省: 11, 342百万円 (対前年度1.06倍) (R6当初)
: 4, 000百万円 (R5補正)
- ・温室効果ガス観測技術衛星の開発や運用
環境省: 4, 216百万円 (対前年度0.92倍) (R6当初)
: 990百万円 (R5補正)

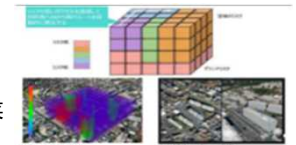


©JAXA
温室効果ガス・水循環観測技術衛星 (GOSAT-GW)

豊かな暮らしの実現

○「空間ID」を含む4次元時空間情報基盤の整備

- ・産業DXのためのデジタルインフラ整備事業
経済産業省: 2, 026百万円の内数 (R6当初)
- ・自動運転等の先行実装のためのデジタルライフライン整備事業
経済産業省: 12, 687百万円の内数 (R5補正)



空間IDをドローンの運行に活用

○SIPスマートモビリティプラットフォームの構築

- ・科学技術イノベーション創造推進費
内閣府: 55, 500百万円の内数 (R6当初)

○3D都市モデル「PLATEAU」

- ・都市空間情報デジタル基盤構築調査、支援事業
国土交通省: 2, 200百万円 (対前年度1.05倍) (R6当初)
: 1, 200百万円 (R5補正)



BIMモデル等を活用した3D都市モデル

産業・経済の活性化

○スマート農業の加速化などデジタル技術の利活用の推進

- ・eMAFF地図の開発・運用
農林水産省: 2, 302百万円 (対前年度5.33倍) (R6当初)
: 584百万円 (R5補正)
- ・次世代スマート農業技術の開発・改良・実用化等
農林水産省: 650百万円 (対前年度1.08倍) (R6当初)
: 3, 000百万円 (R5補正)



eMAFF地図現地確認アプリ操作画面

○i-Constructionの推進による3次元データの利活用の促進

- ・i-Constructionの推進による3次元データの利活用の促進
国土交通省: 1, 796百万円 (対前年度1.08倍) (R6当初)
: 8, 278百万円 (R5補正)

○衛星データ利活用促進事業

- ・衛星データ利用環境整備・ソリューション開発支援
経済産業省: 380百万円 (対前年度0.97倍) (R6当初)



IoTやデジタル技術を活用

○地理空間情報活用人材の育成・交流支援

- ・地理空間情報等を活用したビジネスアイデアコンテスト「イチBizアワード」の開催
内閣官房: 21百万円の内数 (R6当初)

地理空間情報基盤の継続的な整備・充実等

○高精度測位時代に不可欠な位置情報の共通基盤「国家座標」の推進

- ・電子国土基本図の整備・更新・3次元化等
国土交通省: 1, 292百万円 (対前年度1.06倍) (R6当初)
: 3, 947百万円 (R5補正)
- ・電子基準点の運用による位置情報サービスの発展への貢献等
国土交通省: 734百万円 (対前年度0.92倍) (R6当初)
: 810百万円 (R5補正)



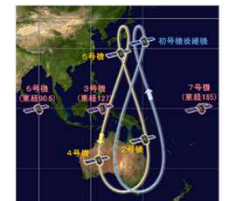
ベース・レジストリである電子国土基本図の3次元化

○準天頂衛星システムの開発・整備及び測位能力向上の推進

- ・実用準天頂衛星システムの開発・整備・運用の推進
内閣府: 16, 706百万円 (対前年度1.00倍) (R6当初)
: 7, 307百万円 (R5補正)

○不動産関係ベース・レジストリの整備・推進

- ・不動産関係ベース・レジストリの整備・推進
デジタル庁: 243百万円 (対前年度1.45倍) (R6当初)
: 153百万円 (R5補正)
- ・「不動産ID」を情報連携のキーとした建築・都市DX社会推進事業
国土交通省: 149百万円 (R5補正)



準天頂衛星システム7機体制